;学校番号	314

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学 B	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	「NEXT　数学 B」　（数研出版）						
副教材等	「CONNECT 数学 II+B」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ 授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・ 「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする数学的活動を行います。
・ 問題集用のノートを用意してください。
問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。
・授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。
・定期的に振り返りシートを記入します。学んだことをまとめられるようになりましょう。

2　学習の到達目標

１ 数列，確率分布と統計的な推測について，概念を理解し，基礎的な知識の習得と数学的処理技能の習熟を目指す。
２ 数列，確率分布と統計的な推測について，数学的な思考力・判断力・表現力を身に付けることを目指す。
３ 数列，確率分布と統計的な推測について，事象を数学的に考察したり多面的に捉える能力，習得した知識，習熟した技能を的確に活用する能力を伸ばすことを目指す
４ 横断的・総合的な学習や問題演習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列，統計的な推測についての 基本的な概念や原理･法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過 程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を 活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論 拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章数列	第1節　等差数列と等比数列 1.　数列と一般項 2.　等差数列 3.　等差数列の和 4.　等比数列 5.　等比数列の和	a: 等差数列や等比数列、その和などの基本的な概念，原理，用語・記号を理解し，基礎的な知識を身に付けている。 b: 等差数列や等比数列、それらの和の一般項などを通して式の見方を豊かにし，数学的に考察することができる。 c:数の並べ方に関心をもち，それらを問題の解決に活用しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート 観察
		第2節　いろいろな数列 1.　和の記号Σ 2.　階差数列 3.　いろいろな数列の和	a: 和の記号Σや階差数列の基本的な概念，原理，用語・記号を理解し，基礎的な知識を身に付けている。 b: 一つの和や階差数列を、一般項などを用いて考察することにより式の見方を豊かにし，数学的に考察することができる。 c:数列や群数列の規則性に関心をもち，それらを問題の解決に活用しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート 観察
2学期	第1章数列	第3節　漸化式と数学的帰納法 1.　漸化式 2.　数学的帰納法	a: 漸化式や数学的帰納法の基本的な概念，原理，用語・記号を理解し，基礎的な知識を身に付けている。 b: 複雑な漸化式や様々な命題を、数学的帰納法などを用いて考察することにより式の見方を豊かにし，数学的に考察することができる。 c:一般項による方法以外の数列の項を定める方法に関心をもち，それらを問題の解決に活用しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート 観察

	第2章 統計的な推測	第1節 確率分布 1. 確率変数と確率分布 2. 確率変数の期待値と分散 3. 確率変数の和と積 4. 二項分布 5. 正規分布	a: 確率変数や二項分布、正規分布などの基本的な概念，原理，用語・記号を理解し，基礎的な知識を身に付けている。 b:具体的な事象を二項分布、正規分布などを用いて考察することができる。 c:確率変数の期待値や、連続型確率変数などに関心をもち，それらを問題の解決に活用しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート 観察
3学期	第2章 統計的な推測	第2節 統計的な推測 1. 母集団と標本 2. 標本平均の分布 3. 推定 4. 仮説検定	a: 標本平均や信頼区間、仮説検定などの基本的な概念，原理，用語・記号を理解し，基礎的な知識を身に付けている。 b:標本平均の分布や仮説検定を利用し、考察したり説明したりできる。 c:信頼区間や仮説検定などに関心をもち，それらを問題の解決に活用しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度